

2025年度夏季手当「3.0箇月」は可能

物価上昇は家計に重く、生活改善を求める。

計画未達を理由に厳しさを強調！

国労本部は2025年度夏季手当の関する第二回交渉を行ないました。

貨物会社は「今年度に入り対前年を上回っているものの計画には届いていない。」また、「期末手当は業績のウェイトが高く、前年度下期の業績を踏まえて判断することになる。」とし、計画を下回っていることを理由に厳しさを強調しています。

前年度比50億円以上改善！

貨物会社の2024年度決算は物価上昇が続いている中で「物流の2024年問題」や、「脱炭素」に向けた動きを背景に鉄道にシフトが進んだことや、運賃改定効果により、連結経常利益は前年から57億円を改善し14億円となりました。また、単体経常利益は54億円改善し△8億円と単体は赤字となったものの前年より大幅に改善しています。

賃金が上がらず物価上昇で厳しい生活を強いられている中で、社員が昼夜を問わず奮闘してきた結果が決算に表れています。

貨物会社は、これまで「業績は手当に反映する」との考えを示してきたことから、責任をもって社員とその家族が、生活が改善したと感ずる判断をするべきです。

下期業績は間違いなく改善している。

社員の切実な要求に応えよ。

貨物会社は、「消費者物価指数は3.0%以上上昇している一方で、賃上げ率は2.3%であり、消費者物価指数に届いていないことは認識している。」としています。また、2023年度下期の連結経常利益は32億円悪化していることに対して、2024年度下期は32億円改善しています。単体では、41億円悪化に対して、24億円改善しています。下期の業績を踏まえ判断するならば、夏季手当に責任をもって反映することであり、社員の切実な要求にしっかりと応えるべきです。

止まらない物価高で家計は限界！

「業績は手当で…」とする考えなら、国労要求に応えよ。



春闘でのベースアップ2,000円は生活改善には程遠く厳しさは変わらない

国労とともに労働条件改善！生活改善！に向け運動しましょう。

労働者の総団結で勝ち取ろう！

国労西日本本部・関西貨物協議会



〒530-0034 大阪府大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館

(TEL) 06-6358-1190

(FAX) 06-6353-7849